



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



ま つ ざ き

2018
(平成30年)

2
No.645

祝第70回松崎町成人式



1月7日(日) 第70回成人式

祝成人

第70回松崎町成人式 83人が大人への仲間入り

1月7日、「第70回松崎町成人式」を環境センター文化ホールで開催しました。

今年、新たに大人の仲間入りをした松崎町の新成人は、83人（男性41人、女性42人）、うち、77人が出席しました。式は「式典」と「はたち祭」の2部構成で行われ、新成人たちは、多くの関係者に見守られながら、「成人」として新たな一歩を踏み出しました。

式典では、新成人を代表して、藤井玲輔さん（松崎）と鈴木彩也さん（松崎）が、「松崎町に生まれ育ったことに誇りを持ち、自らの手で、未来への道を切り開いていくことをここに誓います」と力強く宣誓しました。

はたち祭では、ふるさとクイズや伊豆松崎牛原太鼓の演奏、新成人によるサプライズ企画の「虹」の合唱も行われました。

【問合せ】
教育委員会（42） 3971

新成人が誕生した20年前

戦後最悪の不況により、過去最大の景気対策が行われるなか、冬季オリンピックが長野で開催され、日本人選手が金メダルラッシュの大活躍。また、日本がサッカーワールドカップに初出場する等、不況を吹き飛ばすような明るいニュースがありました。



宣誓をした藤井さんと鈴木さん



君が代の伴奏をした山本さん（那賀）



会場のあちこちで記念写真



勇壮な牛原太鼓の披露



受付は中高生ボランティアが担当



サプライズ企画、新成人による合唱



まっちゃんも新成人を祝福

防火・防災の誓い新たに 松崎町消防団出初式

1月4日、新春恒例の「松崎町消防団出初式」が松崎小学校グラウンドで行われ、消防団員180人が参加しました。

式典では、山田団長が、「地域住民の生命・身体・財産を災害から護るといふ消防団に課せられた本来の使命を改めてかみしめながら、消防団一丸となつて活動強化に取り組みたい」と訓示を述べ、地域防災への誓いを新たにしました。



▲操法を披露する1分団1小隊



▲商店街をパレードする消防団員

その他、永年にわたつて消防防災活動に貢献している団員や家族に対する表彰、退団役員に対する町長感謝状の贈呈、昨年の賀茂支部消防操法大会に出場した第1分団1小隊、第6分団の操法披露を行いました。

式典終了後には、ラッパ隊を先頭に消防団員、消防車両19台による町内パレードと、那賀川で一斉放水が行われました。

表彰 (敬称略)

静岡県消防協会会長表彰

35年勤続功労章

本部 副団長 山田 亘

功績章(25年勤続功労章)

6-2 団員 高橋康之

特別功労章(20年勤続功労章)

1-1 団員 端山智充

1-2 団員 鈴木貴博

2-2 副分団長 鈴木智也

3-1 副分団長 野木沼敏英

4-2 副分団長 石黒浩一

4-2 副分団長 鈴木力

6-2 団員 松本 真

功労章(15年勤続功労章)

1-1 団員 松本佳人

1-1 団員 山崎聖仁

1-2 団員 加藤 聡

3-1 副分団長 鈴木啓士

4-1 副分団長 山本尚敬

4-1 副分団長 松本賢太

4-1 副分団長 齋藤公寛

4-1 副分団長 山崎一弥

5-2 副分団長 山本 学

5-2 副分団長 土屋英雄

5-3 副分団長 渡邊浩明

6-2 副分団長 山本貴一

10年勤続功労章 山本幸之助

静岡県消防協会賀茂支部長表彰

6-3 団員 高橋貴久

5-4 団員 田口貴司

5-1 団員 高橋祐馬

5-1 団員 佐藤謹作

2-2 団員 吉田匡宏

2-1 団員 八木直紀

1-3 団員 齋藤慎司

1-2 団員 小林真輝

1-2 団員 関 允紘

功績章

6分団 分団長 齋藤達雄

1-1 分団長 山本幸之助

2-1 分団長 八木直紀

西伊豆消防団連合会長表彰

4分団 分団長 山本芳紀

2分団 分団長 石田昌司

1分団 分団長 瀬戸亨二

本部 本部長 奥村篤義

本部 本部長 山本篤義

本部 本部長 山本篤義

本部 本部長 山本篤義

本部 本部長 山本篤義

本部 本部長 山本篤義

本部 本部長 山本篤義

本部 本部長 山本篤義

本部 本部長 山本篤義

7年勤続功労章

1-1 団員 伊藤博信

1-1 団員 萩原将之

1-1 団員 鈴木 賢

1-2 団員 鈴木啓介

1-2 団員 土屋智揮

1-3 団員 佐藤良太

2-1 団員 坂本 健

2-1 団員 飯田 聖

3-2 団員 馬場 努

5-1 団員 佐藤 仁

5-1 団員 渡邊武司

5-4 団員 田口完央

6-1 団員 長嶋友廣

6-1 団員 齋藤匡紀

6-1 団員 齋藤宗久

6-3 団員 土屋龍馬

松崎町消防団長表彰

1-3 副分団長 矢谷慶隆

2-1 副分団長 高橋友和

町長感謝状

退団者 後藤 育正

前1分団長 馬場 篤

前2分団長 齋藤 克敏

前4分団長 山本 衛

【問合せ】 3963

総務課(42) 3963

子どもの夢をかなえる 就学援助・支援制度

町では、お子さまが等しく安心して学校生活を送れるように、就学費用の一部を補助または貸付しています。お子さまの通学（進学）する学校や家庭の経済状況等に応じて利用できる制度を活用してください。

小中学生向け

《町の就学援助制度》

【対象】

松崎町に居住し、松崎小学校、松崎中学校に通う児童生徒がいる保護者のうち、生活保護を受けている方、または生活保護は受けていないが、準ずる程度に困窮していると認められる方。

【援助の内容】

学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・新入学児童生徒学用品費・学校給食費等

（支給額の例・年額）

小1	103,410円
小2～小5	65,040円
小6	86,530円
中1	134,300円
中2	146,720円
中3	89,130円

※4月から認定された場合の平成29年度の支給額です。年度により支給金額に変更があります。

この制度は、学校納付金を免除するものではなく、学校納付金の一部を援助するものです。学校納付金は、各学校の指定する期日までに必ず全額納めてください。

援助金を生活費等へ充当することはできません。また、他の就学援助制度との併用はできませんので、ご注意ください。

【問合せ】
教育委員会(42)3971

高校生向け

《奨学金貸付制度》

【対象】

両親または保護者が松崎町住民基本台帳に登録され、現に松崎町内に引き続き1年以上居住している家庭の修学者。

【貸付方法】

年2回、4月末日に4月分から9月分、10月末日に10月分から3月分の奨学金を申請者の口座へ振込みます。申請時期によって支払時期と回数を変更する場合があります。（入学一時金の貸付は入学した年度に1人1回です。）

【貸付の条件】

- ・貸付金は無利子とし、償還期限は、措置期間終了後10年以内の均等年賦償還となります。
- ・貸付金の措置期間は、卒業後1年以内となります。
- ・町税等を完納している保護者および保護者以外の方の連帯保証が必要になります。

次のすべてに該当する方。松崎町に住所のある方で、町が定める金融機関から教育資金を借り入れた方または公共的機関から奨学金の貸付を受けた方。

- ・前年における世帯の年間収入金額が770万円以下の方。

奨学金貸付制度 貸付限度額

区分	入学一時金	月額	
高等学校(ろう学校または特別支援学校の高等部および専修学校の高等課程を含む)	100,000円	20,000円	
大学(短期大学および専修学校の専門課程)	第1学年～第4学年	200,000円	30,000円
高等専門学校	第1学年～第5学年	100,000円	20,000円
備考	入学一時金の貸付は、入学した年度に1人1回とする。		

《教育資金利子補給金制度》

【対象】

次のすべてに該当する方。松崎町に住所のある方で、町が定める金融機関から教育資金を借り入れた方または公共的機関から奨学金の貸付を受けた方。

前年における世帯の年間収入金額が770万円以下の方。

- ・償還実績表提出時に町税等を完納している方。

【利子補給の内容】

- ・利子補給の対象となる教育資金の限度額は、修学者1人につき500万円となります。
- ・利子の補給額は、当該年度中に支払った利子のうち年率3・0%以内となります。

【問合せ】

健康福祉課(42)3966

《県の制度》

町の制度の他に、静岡県においても公立高校へ通うお子さまのための修学支援制度があります。詳しくは、お子さまが通っている高校または県教育委員会へお問合せください。

【問合せ】

県教育委員会
054(221)3110



下田税務署より確定申告のお知らせ



平成29年分の確定申告(所得税の申告)が必要な方は、次の日程で申告の受付を行いますので、3月15日(木)までにご来場ください。

◎確定申告会場

【場所】 下田市民スポーツセンター(サンワーク下田)第1会議室

【期間】

2月16日(金)～3月15日(木)
(土・日を除く)

【時間】

午前9時～午後5時
(受付終了：午後4時)

※この期間、下田税務署内では申告書の作成を行っています。

※会場では、電子申告(e-TAX)による申告相談を行っています。

税務署から送られたハガキまたは封書、「利用者識別番号等の通知」(緑または茶色の「重要書類」と書かれた封筒)をお持ちの方は、ご持参ください。
◎確定申告相談(出張相談)

【場所】 環境センター2階研修室

【日時】

2月26日(月)
午前9時30分～正午
午後1時～午後3時30分

※税務署職員が来庁し、申告を受けますので、積極的にご利用ください。

◎無料税務相談所

【場所】

下田市民スポーツセンター(サンワーク下田)第2会議室

【日時】

2月16日(金)～2月23日(金)
(土・日を除く)

【時間】

午前9時30分～正午
午後1時～午後4時

◎その他

◎平成28年分以降の申告書には、マイナンバー(個人番号)の記載が必要であるとともに、申告されるご本人の本人確認書類の写しの添付が必要になります。
【本人確認を行うときに使用する書類の例】

例1 マイナンバーカード
例2 通知カードまたはマイナンバー入りの住民票+運転免許証、公的医療保険の被保険者証等

○贈与税の申告と納税の期限は3月15日(木)です。

○消費税の申告と納税の期限は4月2日(月)です。

○譲渡所得(株式および土地・建物等の売却による所得)および贈与税の申告相

談は、下田市民スポーツセンター(サンワーク下田)のみ行っています。

○住民税の申告は、平成30年1月1日現在、松崎町

に住所のある人です。簡易な確定申告については、

先に配布した住民税申告受付日程表のとおり、各

地区巡回時に併せて受け付けます。日程表の注意

書き等をよくご覧いただき、ご不明な点があれば、

窓口税務課までお問い合わせください。

【問合せ】

・下田税務署(22)0185

※自動音声にて案内しています。

確定申告のお問い合わせは「0」を選択し、窓口税務課(42)3968

ます。確定申告のお問い合わせは「0」を選択し、窓口税務課(42)3968

てください。

土砂災害(特別)警戒区域の指定について



土砂災害防止法(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律)第7条第1項および第9条第1項の規定に基づき、静岡県が土砂災害警戒区域等を指定しました。

静岡県交通基盤部河川砂防局、下田土木事務所および松崎町役場産業建設課において縦覧できます。

【問合せ】

下田土木事務所企画検査課(24)2113

指定箇所に係る図面等は、産業建設課(42)3965

指定年月日：平成30年1月12日

区域名	所在地	区域指定		土石流危険渓流(参考)	
		イエロー	レッド	危険箇所番号	箇所名
庄ノ田川	岩科北側	○		305-I-034	庄ノ田川
見代添川	岩科南側	○	○	305-I-035	見代添川
船山沢	岩科南側	○	○	305-I-036	八木山上沢
皆毛川	岩科南側	○	○	305-I-037	皆毛川
栄生川	岩科北側	○	○	305-I-038	栄生川
寺尾洞沢	岩科北側	○		305-I-039	栄村沢
松尾沢	岩科南側	○	○	305-I-040	松尾沢-1
松尾沢右支川	岩科南側	○	○	305-I-041	松尾沢-3
下松尾沢	岩科南側	○	○	305-I-042	松尾沢-2
指川西沢	岩科南側	○	○	305-I-043	指川西沢
野田沢	岩科北側	○	○	305-I-044	野田沢
野田沢川	岩科北側	○		305-I-045	野田沢川
大坪沢	岩科北側	○		305-I-046	大坪沢
指川洞沢	岩科南側	○	○	305-I-047	指川東沢
金沢A	岩科北側	○		305-I-048	金沢北沢
矢先沢	岩科北側	○		305-I-049	金沢
山口川	岩科南側	○	○	305-I-050	山口川
山口西沢	岩科南側	○	○	305-I-051	山口西沢
山口上沢	岩科南側	○	○	305-I-052	山口上沢
山口川左支川	岩科南側	○	○	305-I-053	山口南沢
柳原沢	岩科南側	○		305-I-054	山口中沢
芙蓉沢	岩科南側	○	○	305-II-015	八木山中沢
山葵沢	岩科南側	○	○	305-II-016	八木山下沢
桑原沢	岩科北側	○	○	305-II-017	峰

My Town Topics ～まちのできごと～



景観講演会

12月17日、工学院大学西森陸雄准教授を講師に、「未来へ遺そう美しい景観」と題して講演会を行いました。「景観を守るためには、まちを活用することが大切」との話がありました。



4年ぶりの「川のり」

12月中旬から、岩科川と那賀川で4年ぶりに「川のり」が付いています。町内外から、干潮の時間を見計らって、川に入る方の姿が見られます。



ポンカン品評会

1月10日、「ポンカン品評会」が開催されました。出品された38点について審査が行われ、船津正雄さん（船田）が金賞に輝きました。また同月、「栄久ポンカン」が松崎ブランドに認定されました。



幼稚園「どんど焼き」

1月16日、松崎幼稚園で「どんど焼き」を行いました。子どもたちは、賽の神の周りで団子を焼いたり、煙をあびて1年の健康等を祈りました。

私は平成26年に、40年間のサラリーマン生活（うち通算21年間単身）に終止符を打ち、故郷に帰り、「蔵ら」さんの存在を知り、青森代表の看護に立脚した考えとスタッフの皆さんのハツラツとした姿に感銘し、少しでもお手伝いをしたいということで、高齢者向けの宅配弁当を担当しました。報酬は一杯のコーヒー、そして「いつもご苦労様です」といったねぎらいの言葉と、高齢者の方々からは、当時63歳の私に対し、「岩地のあんちゃん待ってたよ」という言葉から、私は必要とされているのだというかすかな自尊心、それと亡き母のイメージが重なり、やり甲斐を感じておりました。弁当配達のある日、石部のバス停で信号待ちをしていたら、バスからリユックサックを

買い物支援について

町長室からこんにちは ②

松崎町長
長嶋 精一

背負ったご老人が降りてきて、三浦小学校の近くにある家の方へ歩き始めました。この方は町で買い物をしてきてあの長い坂道を歩いて帰るのだ、大変だな、せめて買い物支援の車があったら助かるだろうと考えたことが、買い物に不自由な地域に曜日を決めて車を運行させたいと思っただけで、その現象を推し量り、そして原理原則を打ち立てていくという「帰納法」的な発想を原点としており、このやり方は私の過去の経験からも、ほぼ間違いがないと思っております。今、役場内では、4月からの支援実現に向けて、いろいろな方法を模索、検討している最中であります。

特産の「桜葉」を守り、伝える――

(一社) 伊豆松崎町桜葉振興会

桜葉振興会は、昭和45年頃、「桜葉生産者部会」として活動を始めました。その頃は、桜葉生産者約200人のうち会員が約150人と大勢で活動していたそうです。

現在の会長である田口幾雄さん(八木山)と会計を務める後藤静夫さん(野田)に話を聞くと、「桜葉の栽培は、

キラリ、輝き人 No.37

▶桜葉の苗木を配るために、掘り起こしている様子



▲役員の方皆さん(田口会長は前列左から2番目、後藤会計は後列左から2番目)

Profile

いずまつぎきちょう
さくらばしんこうかい

現在は、会員数約60人で活動しています。桜葉の育苗や害虫対策、新規生産者の指導等を行っています。桜葉栽培に関心のある方は、田口会長(TEL 42-0869)へお問い合わせください。

昭和初期に始まり、80年以上続いています。桜葉の成長には夏の雨が重要で、潮風が当たること・田の近くで栽培することはあまり良くない」とのことでした。平成26年2月からは法人化し、「一般社団法人伊豆松崎町桜葉振興会」として活動しています。毎年の活動として、「2月に桜葉の種をまき、年末

まで、草取りや肥料をあげて苗を育てます。桜葉の採集期は5〜9月で、葉を摘み取るとともに、会員の畑を見て回り、生育状況を確認しています。年末に苗が完成すると、会員等に配り、木の代替えや補植等に使っています」と話してくれました。

長年の桜葉生産の状況を聞くと、「桜葉の栽培は気候によるところが大きく、経験が大切です。収穫のやりがいがあると嬉しいですね。近年は、お茶や化粧品等にも需要が出てきましたし、桜葉の苗・生産量や会員を増やして後継者につなげていきたいです」と話してくれました。

「桜葉の新規生産者としては、移住してきた方で生産している方もいますし、仕事を退職した方や『まるけ』に参加してくれる方が増えるといいと思います。栽培に適した土地を紹介できるように耕作放棄地を見て回ることもしています」と話してくれました。

姉妹都市通信

帯広市から

「文化・ひと・こころ」を結ぶ 姉妹都市交流

帯広市は、開拓姉妹都市の松崎町をはじめ、観光文化姉妹都市の大分県大分市、産業文化姉妹都市の徳島県徳島市、海外では、国際姉妹都市の米国スワード市、マデイソン市、国際友好都市の中国朝陽市との間で、人づくりや地域振興につなげるために、子ども親善訪問団や高校生の相互派遣等さまざまな交流を行っています。

昨年は、徳島市と姉妹都市締結をしてから35周年を迎えました。四国地方にある徳島市は、「阿波おどり」の本場として世界的に有名なまちです。徳島市では、毎年8月12日から15日までを阿波おどり期間として、町中におはやしが響き、「ぞめき(阿波おどりのおはやしの総称)」のリズムに合わせて、徳島市内のいたるところで熱気あふれる踊り子たちを見る事ができます。



練習した阿波おどりを披露

帯広市は締結35周年を記念して、市議会議長を団長とする15人の訪問団を結成し、昨年8月11日から13日まで徳島市へ派遣しました。訪問時は、阿波おどりの真つただ中。徳島市の皆さんと親睦をより深めようと、事前に練習した踊りを阿波おどり開幕式で披露しました。こうした記念事業は、交流の絆を一層深めるとともに、これからのさらなる交流発展のきっかけとなるものです。

今年、松崎町と帯広市は姉妹都市締結40周年の記念すべき年を迎えます。文化や人の交流のみならず、互いのこころの触れ合いが生まれる姉妹都市交流が、今後も末永く続いていくことを願っています。

町の人口と世帯

(平成29年12月31日現在)
()内は前月比

総人口	6,836人	(-15人)
男	3,254人	(-5人)
女	3,582人	(-10人)
世帯数	2,995戸	(-4戸)
転入	8人	転出 10人
出生	3人	死亡 16人

(12月届出分)
戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
江奈4	亮成	男	保坂亮三
道部	至	男	佐藤佳弘
大澤	美結	女	稲葉朝望

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
櫻田	平野民子	87	翠
南区	高橋つね	81	知美
明伏	松本芳徳	96	一
江奈3	石田修	77	智也
野田	佐藤巳三男	88	和彦
岩地	川崎壽	85	美子
明伏	山本ふみゑ	87	総悟
峰輪	鈴木辰美	53	新吾
山口	壬生美代子	103	衛
宮内	塚本俊郎	76	健次
建久寺	大蔵文雄	86	鶴子
江奈2	長島友七	96	伸次

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成29年12月発生分

()内は前年同月比

人身事故	1件	(+1)
物損事故	11件	(-1)
死者	0人	(±0)
傷者	2人	(+2)

【問合せ】健康福祉課
(42)3966
※このコーナーは偶数月に掲載します。



馬場 結楓ちゃん
(船田)



柴崎 揮くん
(東区)

3歳児健診で「虫歯」がなかったお子さんを紹介します。

ピカピカ
キッズ



町の人事

新教育長に佐藤みつほ氏



町議会12月定例会で、佐藤みつほ氏(桜田)を教育長に任命することについて全員賛成で同意をいただき、12月27日より新教育長として就任しました。任期は、2019年12月17日までです。
【問合せ】総務課(42)39663

2月のイベント
「ふれあいスポーツ講演会」

【講師】シドニー五輪競泳日本代表萩原智子氏
【テーマ】「いつも笑顔で」

【日時】2月25日(日)

午後1時30分〜

(開場午後1時)

【会場】環境センター

文化ホール

【主催】松崎町体育協会
松崎町教育委員会

【問合せ】教育委員会

(42)3971



松崎文芸

— 短歌 —

外板に日田杉を使ひし弁才船
技術の粋を集めて造る

岡村芳子

始まりはいつも通りの四重奏

バイオリニストは目で合図する

杉山安紀子

細麵の好きな私と蕎麦好む

夫の為にも二鍋かける

土屋君子

住職の「下载の清風」このことは

身にしみたり意を汲み生きゆかむ

細田光代

ふるふると揺れるお皿の水やうかん

ちびちび食べて行く夏惜しむ

高橋美奈子

広報まつねぎ

二〇一八年二月一日発行
通刊 第六四五号

千四〇三六六 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
五〇五〇四二一三九六四 五〇五〇四二一三二八三

発行 静岡県松崎町
印刷 (株)山本印刷

編集 企画観光課